

研究者要覽

2013



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

目 次

凡例

機構長 3

理 事 7

特任教授 11

研究開発部 19

氏名索引 (50音順) 43

凡 例

掲載対象者 平成25年5月1日現在で本機構に在職する機構長，理事，特任教授，教授，准教授，客員教授，客員准教授を対象とした。

掲 載 内 容

- (1) 氏名
- (2) 所属・職名
- (3) 学歴（学部卒業・大学院修了者は双方を記載）
- (4) 学位（取得年月，種類，授与大学の順）
- (5) 主要職歴
- (6) 専門分野
- (7) 調査研究テーマ
- (8) 教育研究業績（主要な業績を5点程度）
著書は，『書名』，出版社名，出版年を記載
- (9) 所属学会
- (10) 受賞関係
- (11) 社会における活動（主要な活動を記載，活動年のないものは現在の活動）

機 構 長

氏 名 ^{の が み} ^{と も ゆ き}
野 上 智 行
NOGAMI Tomoyuki

所 属 ・ 職 名 機構長

学 歴 1968年 3月 広島大学教育学部卒業
1975年 3月 広島大学大学院教育学研究科修士課程修了
1978年 12月 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期課程単位取得退学

学 位 1992年 2月 博士(教育学)(広島大学)

主 要 職 歴 1968年 4月 広島市公立学校教員
1971年 4月 広島大学教育学部東雲分校教務員
1972年 4月 広島大学教育学部東雲分校助手(～1973年 3月退職, 大学院進学)
1979年 4月 広島大学教育学部助手
1980年 4月 広島女子大学家政学部講師
1983年 4月 広島女子大学家政学部助教授(～1988年 9月)
1986年 4月 米国コロンビア大学 Teachers College 客員研究員(～1987年 3月)
1988年 10月 神戸大学教育学部助教授
1992年 8月 神戸大学教育学部教授
1992年 10月 神戸大学発達科学部教授(教育学部改組による)
1996年 1月 神戸大学発達科学部附属幼稚園長, 附属明石小・中学校校長
1998年 10月 神戸大学発達科学部長(教育学部長を併任)
2000年 10月 神戸大学大学院総合人間科学研究科長
2001年 2月 神戸大学長
2004年 4月 国立大学法人神戸大学長(～2009年 3月)
2009年 4月 神戸大学名誉教授
2009年 4月 英国ロンドン大学 Institute of Education 客員教授(～2010年 3月)
2009年 6月 社団法人国立大学協会専務理事
2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構長

専 門 分 野 科学教育論

調 査 研 究 テ ー マ 1. 科学技術リテラシー育成にかかる学校と社会と大学の連携プログラムの開発
2. 欧州における理系大学院学生のキャリア形成支援に関する調査研究

教 育 研 究 業 績 1. 欧米における科学リテラシー教育の動向に関する調査研究
2. 理科教員養成教育プログラムの開発
3. 環境教育, STS 教育, ESD 教育に関する調査研究と教育プログラムの開発

所 属 学 会 1. 日本科学教育学会 2. 日本理科教育学会 3. 日本教育学会
4. 科学技術社会論学会

受 賞 関 係 1. CAVALIERE 勲章(イタリア共和国褒賞, 2006年)
2. 日本科学教育学会論文賞(2008年 8月)
3. 日本理科教育学会功労賞(2009年 8月)

社 会 に お け る 活 動 1. 日本ユネスコ国内委員会委員(2003年 12月～2010年 3月)
2. 大学設置・学校法人審議会大学設置分科会審査会委員(2004年 5月～2010年 3月)
3. 独立行政法人大学評価・学位授与機構機関別認証評価委員会委員(2010年 4月～
2012年 3月)
4. 国立大学法人評価委員会専門委員大学共同利用機関法人分科会(2012年 1月～)
5. グローバル COE プログラム委員会委員(2012年 4月～)
6. 国立大学財務・経営センター運営評議会委員(2012年 6月～) など

理 事

氏名 おかもと かずお
岡本 和夫
OKAMOTO Kazuo

所属・職名 理事

学歴 1970年 3月 東京大学理学部数学科卒業
1972年 3月 東京大学大学院理学系研究科数学専門課程修士課程修了

学位 1978年 7月 理学博士(東京大学)

主要職歴 1973年 4月 東京大学理学部助手
1981年 4月 一橋大学社会学部助教授
1983年 4月 東京大学教養学部助教授
1990年 4月 東京大学教養学部教授
1992年 4月 東京大学大学院数理科学研究科教授
1998年 4月 東京大学大学院数理科学研究科長
2002年 4月 東京大学大学総合教育研究センター長
2010年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構理事・国際連携センター長(兼)
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構理事・研究開発部長(兼)
2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構理事

専門分野 数学

調査研究テーマ 1. 可積分系の理論 2. 数学教育 3. 高等教育

教育研究業績 1. Studies on the Painlevé equations. V, J. Math. Sci. Univ. Tokyo 13(2006), 145-204
(大山陽介, 川向洋之, 坂井秀隆と共著)
2. 『パルヴェ方程式』, 岩波書店, 2009年2月, 286ページ
3. 『自然と社会を貫く数学』, 放送大学教育振興会, 2007年4月, 194ページ(薩摩順吉, 桂利行と共著)
4. 『関流和算書大成一関算四伝書一』, 東アジア数学史研究会編, 勉誠出版社, 第I期2008年2月, 第II期2010年2月, 第III期2011年1月(代表者として, 科学研究費補助金を受けて出版したもの)

所属学会 1. 日本数学会 2. 応用数理学会 3. 高等教育学会

受賞関係 日本数学会賞出版賞(2011年)

社会における活動 1. 社団法人日本数学会理事長(1995年4月～1997年4月)
2. 日本学術会議会員(1997年7月～2005年9月)
3. 財団法人東京大学出版会理事長(2005年4月～2009年3月)

特 任 教 授

氏名 かわぐち あきひこ
川 口 昭 彦
KAWAGUCHI Akihiko

所属・職名 特任教授

学歴 1964年 3月 岡山大学理学部化学科卒業
1966年 3月 京都大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了
1969年 3月 京都大学大学院理学研究科化学専攻博士課程単位取得退学

学位 1970年 1月 理学博士(京都大学)

主要職歴 1969年 4月 東京大学応用微生物研究所助手
1983年 4月 東京大学教養学部助教授
1989年 4月 東京大学教養学部教授
1991年 2月 東京大学評議員(～1995年 4月)
1994年 7月 東京大学留学生センター長(併)(～1998年 6月)
1996年 4月 東京大学大学院総合文化研究科教授
1996年 4月 東京大学教養学部生命・認知科学科長(併)(～1999年 3月)
1999年 4月 東京大学総合研究博物館長(併)(～2001年 3月)
2000年 4月 大学評価・学位授与機構評価研究部教授(併)(～2001年 3月)
2001年 4月 大学評価・学位授与機構評価研究部教授
2002年 5月 東京大学名誉教授
2002年 10月 大学評価・学位授与機構評価研究部長(併)
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授, 評価研究部長(兼)
2006年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構理事
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構国際連携センター長(兼)
2010年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構特任教授

専門分野 生命科学, 大学評価研究

調査研究テーマ 大学評価法開発

教育研究業績 1. 『生命と時間 生物化学入門』東京大学出版会 1998年
2. Kawaguchi, A., Iwamoto-Kihara, A., and Sato, N.: Biosynthesis and Degradation of Fatty Acids. Comprehensive Natural Products Chemistry, Vol.1, ed. Sankawa, U., Elsevier Science Ltd.,UK, pp.23-59(1999)
3. 川口昭彦:国立大学における教養教育の取り組みと評価—大学評価・学位授与機構の実情調査報告書と評価報告書から—大学評価・学位研究 第1号 No.1 pp.5-17 (2005)
4. 『大学評価文化の展開—わかりやすい大学評価の技法』大学評価・学位授与機構大学評価シリーズ, 独立行政法人大学評価・学位授与機構編集 ぎょうせい 2006年
5. 川口昭彦:国立大学法人の評価—評価のデザイン—評価機関の立場から IDE 現代の高等教育, No.490, pp.22-29(2007)
6. 『大学評価文化の定着—大学が知の創造・継承基地となるために』大学評価・学位授与機構大学評価シリーズ, 独立行政法人大学評価・学位授与機構編集 ぎょうせい 2009年
7. 『大学評価文化の定着—日本の大学教育は国際競争に勝てるか?』大学評価・学位授与機構大学評価シリーズ, 独立行政法人大学評価・学位授与機構編著 ぎょうせい 2010年
8. Kawaguchi, A. :Quality Assurance of Higher Education in Japan and International Collaborations of NIAD-UE. Evaluation in Higher Education (Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan)Vol.5, No.2, 41-57(2011)
9. 川口昭彦:体験的認証評価論 IDE 現代の高等教育, No.551, pp.31-36(2013)

所属学会 1. 日本生化学会 2. 日本植物学会 3. 日本脂質生化学会
4. 日本宇宙生物科学会

受賞関係 1. 日本脂質生化学研究会千田賞(1978年) 2. 日本生化学会奨励賞(1978年)
3. APQN Quality Awards —Decennial Felicitation (Asia Pacific Quality Network) (2013年)

社会における活動 1. 財団法人日本宇宙フォーラム公募地上研究専門委員
2. 財団法人タカセ国際奨学金財団選考委員会委員長
3. 財団法人日本国際教育協会交流事業選考委員会委員

氏 名 きむら せいじ
木 村 靖 二
KIMURA Seiji

所 属 ・ 職 名 特任教授

学 歴 1965年 3月 東京大学文学部第二類(史学)西洋史学専修課程卒業
1967年 3月 東京大学大学院人文科学研究科西洋史学専門課程修士課程修了
1968年 3月 東京大学大学院人文科学研究科西洋史学専門課程博士課程退学
1968年 3月 ミュンヘン大学史学科留学

学 位 1967年 3月 文学修士(東京大学)

主 要 職 歴 1968年 4月 東京大学文学部助手
1970年 4月 茨城大学教養部講師
1975年 4月 立教大学文学部助教授
1979年 4月 ベルリン自由大学史学科客員講師
1985年 4月 フンボルト大学客員教授
1989年 4月 東京大学文学部助教授
1994年 1月 東京大学文学部教授
1995年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授
2000年 4月 東京大学文学部歴史文化学科長(併)(~2001年 3月)
2001年 10月 大学評価・学位授与機構評価研究部教授(併)(~2003年 3月)
2003年 4月 大学評価・学位授与機構評価研究部教授
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授
2004年 6月 東京大学名誉教授
2005年 4月 放送大学客員教授
2006年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授, 評価研究部長(兼)
2006年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構特任教授
2008年 4月 立正大学文学部教授
2008年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部客員教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部客員教授
2013年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構特任教授

専 門 分 野 西洋史学(ドイツ近現代史, ヨーロッパ近現代史)

調 査 研 究 テ ー マ 1. ナチズム史(ファシズム論)
2. 両世界大戦期政治社会史
3. 大学評価, 高等教育の国際比較

教 育 研 究 業 績 1. 『兵士の革命 1918年ドイツ』東京大学出版会 1988年
2. 『世界歴史体系ドイツ史』1-3巻 山川出版社(共編著)1997年~98年
3. 『世界大戦と現代文化の開幕』中央公論社(共著)1998年
4. 『現代国家の正統性と危機』山川出版社(共編著)2002年
5. 『近現代ヨーロッパ史』放送大学教育振興会(共著)2006年

所 属 学 会 1. 史学会 2. 歴史学研究会 3. 日本西洋史学会
4. 現代史研究会 5. 日本ドイツ学会 6. 大学史研究会

社 会 に お け る 活 動 1. 文部科学省大学設置審議会専門委員(1998年~2000年)
2. 文部科学省文学視学委員(2001年~2002年)
3. 日本学術振興会専門委員(2003年~2005年)
4. 文部科学省大学教育の国際化推進プログラム選定委員会専門委員(2006年~2008年)

氏 名 きむら つとむ
木 村 孟
KIMURA Tsutomu

所 属 ・ 職 名 特任教授

学 歴 1961年 3月 東京大学工学部土木工学科卒業
1964年 3月 東京大学大学院数物系研究科土木工学専攻修士課程修了

学 位 1968年 6月 工学博士(東京工業大学)

主 要 職 歴 1961年 4月 日本舗道株式会社(現 株式会社NIPPO)
1965年 6月 東京工業大学理工学部助手
1968年 8月 東京工業大学工学部助教授
1982年 3月 東京工業大学工学部教授
1992年 4月 東京工業大学工学部長(併) (~1993年 10月)
1993年 10月 東京工業大学長
1997年 10月 東京工業大学工学部教授
1998年 4月 東京工業大学名誉教授
1998年 4月 学位授与機構長
2000年 4月 大学評価・学位授与機構長
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構長(~2009年 3月)
2005年 10月 第5次出入国管理政策懇談会 座長
2009年 4月 文部科学省顧問, 独立行政法人大学評価・学位授与機構特任教授
2009年 6月 日本技術者教育認定機構会長
2013年 3月 第6次出入国管理政策懇談会 座長

専 門 分 野 地盤工学, 土質工学

教 育 研 究 業 績 1. 『土の応力伝播』鹿島出版会 1978年
2. 『土質力学(土木工学大系第8巻)』彰国社 1980年

受 賞 関 係 1. 土木学会賞論文奨励賞(1966年)
2. 手島記念賞著述賞(1969年)
3. 土質工学会賞論文賞(1982年)
4. 土木学会賞論文賞(1988年)
5. 名誉大英勲章 CBE(2004年)
6. 日本学士院賞(2012年)

社会における活動 1. 中央教育審議会副会長(2001年~2007年)
2. 経済産業省独立行政法人評価委員会委員長(2001年~2011年)
3. 国土交通省独立行政法人評価委員会委員長(2001年~2010年)
4. 国立大学法人評価委員会委員(2003年~2004年)
5. 東京都教育委員会委員長(2004年~)
6. 中央教育審議会臨時委員(2007年~)
7. 日本学術会議会員(2005年~2008年)
8. 日本学術会議連携会員(2008年~2011年)
9. 経済産業省産業構造審議会委員分科会長(2003年~)

氏 名 はしもと ひろのぶ
橋 本 弘 信
HASHIMOTO Hironobu

所 属 ・ 職 名 特任教授

学 歴 1964年 3月 東京工業大学理工学部化学科卒業
1966年 3月 東京工業大学大学院理工学研究科修士課程化学専攻修了
1969年 3月 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程化学専攻修了

学 位 1969年 9月 理学博士(東京工業大学)

主 要 職 歴 1969年 10月 東京工業大学理学部助手
1975年 4月 クミアイ化学工業株式会社嘱託
1977年 5月 東京工業大学理学部附属天然物化学研究施設助手
1978年 4月 東京工業大学理学部附属天然物化学研究施設助教授
1987年 5月 東京工業大学理学部教授
1990年 6月 東京工業大学生命理工学部教授
1999年 4月 東京工業大学大学院生命理工学研究科教授
2000年 4月 東京工業大学大学院生命理工学研究科長
2004年 4月 東京工業大学大学院生命理工学研究科長
2005年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
2006年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授,
学位審査研究部長(兼)
2008年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部客員教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部客員教授
2013年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構特任教授

専 門 分 野 生物有機化学, 糖質化学

調 査 研 究 テ ー マ 1. 糖質研究における動向
2. 学位授与事業のあり方

教 育 研 究 業 績 1. M. Izumi, H. Yuasa, H. Hashimoto, Bisubstrate Analogues as Glycosyltransferase Inhibitors, *Current Topics Med. Chem.*, 9, 87-105 (2009).
2. H. Yuasa, M. Izumi, H. Hashimoto, Thiasugars: Potential Glycosidase Inhibitors, *Current Topics Med. Chem.*, 9, 76-86 (2009).
3. T. Sato, K. Hatanaka, H. Hashimoto, T. Yamagata, Syntheses of oligosaccharides using cell function, *Trends in Glycoscience and Glycotechnology*, 19(105), 1-17 (2007).
4. M. Izumi, O. Tsuruta, Y. Kajihara, S. Yazawa, H. Yuasa, H. Hashimoto, Synthesis and evaluation of 5-thio-L-fucose-containing oligosaccharide, *Chemistry-A European Journal*, 11(10), 3032-3038 (2005).

所 属 学 会 1. 日本化学会 2. 日本糖質学会 3. ドイツ化学会 4. アメリカ化学会
5. 日本生化学会

社 会 に お け る 活 動 1. FCCA(Forum:Carbohydrates Coming of Age) 幹事長:TIGG 編集委員長
2. 水谷糖質科学振興財団理事

氏 名 ひらの しんいち
平野 眞一
HIRANO Shin-ichi

所 属 ・ 職 名 特任教授

学 歴 1965年 3月 名古屋大学工学部応用化学科卒業
1967年 3月 名古屋大学大学院工学研究科応用化学及び合成化学専攻修士課程修了
1970年 3月 名古屋大学大学院工学研究科応用化学及び合成化学専攻博士課程修了

学 位 1970年 3月 工学博士(名古屋大学)

主 要 職 歴 1970年 4月 東京工業大学工業材料研究所助手
1971年 8月 ペンシルベニア州立大学博士研究員
1976年 10月 東京工業大学工業材料研究所助教授
1978年 4月 名古屋大学工学部助教授
1983年 8月 名古屋大学工学部教授
1997年 4月 名古屋大学大学院工学研究科教授
1999年 4月 名古屋大学高温エネルギー変換研究センター長
2002年 4月 名古屋大学先端技術共同研究センター長
2003年 4月 名古屋大学大学院工学研究科長・工学部長
2004年 4月 名古屋大学総長
2009年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構長(～2011年3月)
2009年 5月 名古屋大学名誉教授
2010年 4月 名誉博士(中国国務院認証, 上海交通大学)
2012年 9月 独立行政法人大学評価・学位授与機構特任教授

専 門 分 野 無機材料化学, 結晶成長学, 材料評価学

調 査 研 究 テ ー マ 1. 低環境負荷条件下におけるセラミックスのプロセッシング
2. 微構造制御と機能発現について

教 育 研 究 業 績 1. 天然黒鉛の生成機構の解明
2. 低環境負荷条件下でのセラミックスの合成法の開発
3. ナノ無機粒子・有機ハイブリッド材料合成に世界に先駆けて成功

所 属 学 会 1. 日本セラミックス協会 2. 日本化学会 3. The American Ceramic Society
4. 日本結晶成長学会 5. 粉体粉末冶金協会 など

受 賞 関 係 1. 東海化学工業会賞(1982年)
2. 粉体粉末冶金協会研究功績賞(1984年)
3. 窯業協会(現 日本セラミックス協会)学術賞(1986年)
4. 日本化学会学術賞(1989年)
5. アメリカセラミック学会フェロー(1989年)
6. Richard M. Fulrath 賞(アメリカセラミック学会)(1989年)
7. 日本セラミックス協会研究功労賞(1991年)
8. 日本ファインセラミックス協会国際賞(2000年)
9. Distinguished Life Membership 賞(アメリカセラミック学会)(2006年)
10. Einstein Professorship(中国科学院)(2008年)
11. 日本結晶成長学会業績賞(2009年)
12. 岡崎清功労賞(2010年)
13. Plague of Honor(2012年 Office for National Education Standards and Quality Assesment, Thai)

社会における活動 1. 文部科学省科学技術・学術審議会委員(2007～2009年, 2011年～)
2. 文部科学省日中韓大学間交流・連携推進会議委員(2010年～)
3. 文部科学省大学設置・学校法人審議会特別委員(2010年～)
4. 公益財団法人村田学術振興財団理事(2011年～)
5. 財団法人ファインセラミックスセンター理事(2006年～)
6. 公益財団法人大幸財団評議員(2011年～)
7. 国際セラミック連盟会長
8. 日本セラミックス協会会長
9. アジア・オセアニアセラミック連盟会長 など

研究開発部

氏 名 ^{たけいち まさと}
武 市 正 人
TAKEICHI Masato

所 属 ・ 職 名 研究開発部長（兼）教授

学 歴 1970年 3月 東京大学工学部計数工学科卒業
1972年 3月 東京大学大学院工学系研究科計数工学専門課程修士課程修了

学 位 1987年 6月 工学博士(東京大学)

主 要 職 歴 1972年 4月 東京大学助手・講師
1977年 8月 電気通信大学講師・助教授
1987年 4月 東京大学助教授
1993年 1月 東京大学工学部教授
1996年 4月 東京大学教育用計算機センター長併任(～1999年 3月)
2001年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科教授(～2011年 3月)
2004年 4月 東京大学大学院情報理工学系研究科長兼務(～2007年 3月)
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授
2011年 6月 東京大学名誉教授
2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部長(兼)教授

専 門 分 野 情報学, 大学評価

調査研究テーマ 1. ソフトウェア構成論 2. 高等教育・大学評価

教育研究業績 1. M.Takeichi. Partial Parametrization Eliminates Multiple Traversals of Data Structures. Acta Informatica 24(1), pp.57-77, 1987.
2. Z.Hu, M.Takeichi and W-N.Chin. Parallelization in Computational Forms. Proc. 25th ACM SIGPLAN-SIGACT Symposium on Principles of Programming Languages (POPL98), San Diego, California, USA, January 1998, pp.316-328. ACM Press.
3. M.Takeichi and Z.Hu. Calculation Carrying Programs: How to code Program Transformation. (Invited Talk). International Symposium on Principles of Software Evolution (ISPSE 2000), Kanazawa, November 2000. IEEE Computer Society, pp.250-259.
4. M.Takeichi. Configuring Bidirectional Programs with Functions. International Symposium/Workshop on Implementation and Application Of Functional Languages, South Orange, NJ, USA, September 2009.
5. 武市正人, プログラミング言語, 岩波講座ソフトウェア科学 4, 岩波書店, 1994.

所 属 学 会 1. 日本ソフトウェア科学会 2. 情報処理学会
3. 高等教育質保証学会 4. Association for Computing Machinery

受 賞 関 係 1. 第2回日本経営情報開発協会研究奨励賞(1972年 3月)
2. 情報処理学会論文賞(1986年 6月)
3. 日本ソフトウェア科学会功績賞(2004年 9月)

社会における活動 1. 日本学術会議副会長(2011年 10月～2013年 4月)同会員(2003年 7月～2014年 9月)
2. 日本学術振興会評議員(2012年 3月～2014年 2月)
3. 大学設置・学校法人審議会専門委員(1998年 7月～2007年 3月)
4. 総合科学技術会議専門委員(2003年 8月～2004年 8月)

氏 名 ^{すずき けんじろう}
鈴木 賢次郎
SUZUKI Kenjiro

所 属 ・ 職 名 研究開発部・評価研究主幹（兼）教授

学 歴 1968年 3月 東京大学工学部航空学科卒業
1970年 3月 東京大学大学院工学系研究科航空学専攻修士課程修了
1973年 3月 東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程単位取得満期退学

学 位 1977年 4月 工学博士（東京大学）

主 要 職 歴 1973年 4月 東京大学教養学部助手
1979年 4月 東京大学教養学部助教授
1984年 4月 ブラウン大学客員研究員（～1985年 8月）
1992年 4月 東京大学教養学部教授
2001年 4月 東京大学評議員（～2003年 3月）
2002年 10月 東京大学教養学部副学部長（教養学部の組織改革による ～2003年 3月）
2008年 11月 独立行政法人大学評価・学位授与機構客員教授
2009年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授
2009年 6月 東京大学名誉教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授
2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授、
評価研究主幹（兼）

専 門 分 野 図学, 図学教育, 教育評価

調査研究テーマ 1. グラフィックス・リテラシー・カリキュラムの開発
2. 空間認識力の育成効果の評価 3. 大学評価

教育研究業績 1. “図学と製図[新訂版]”（共著）, サイエンス社, 2001年
2. “3D CAD/CG 入門—Inventor と 3ds Max で学ぶ図形科学—”（共著）, サイエンス社, 2008年
3. “Evaluation of Students’ Spatial Abilities by a Mental Cutting Test – Review on the Surveys in the Past Decade (Invited Lecture)”, *Proc. 11th Int. Conf. Geometry and Graphics (Guangzhou)*, L3, pp.1-5, 2004年
4. “東京大学における教養教育の評価と課題”（共著）, 大学評価・学位研究, Vol.1, No.1, pp.51-64, 2005年
5. “Analysis of Graphic Science Lecture Based on the Student Evaluation (Invited Lecture)”（共著）, *Proc. 7th China-Japan Joint Conf. Graphics Education (Xian)*, pp. 13-18, 2005.
6. “Development of Graphics Literacy Education -Implementation of Commercial 3D-CAD/CG Software into Graphic Science Course (Invited Lecture)”（共著）, *Proc. 12th Int. Conf. Geometry and Graphics (Salvador)*, L4, pp.1-10, 2006年

所 属 学 会 1. 日本図学会 2. ISGG (国際図学会) 3. 高等教育質保証学会
4. 日本設計工学会

受 賞 関 係 1. 日本図学会賞 (1988年 5月)
2. 日本図学会 30周年特別賞 (1997年 5月)
3. Medal for Leading and Expanding ISGG (1998年 8月)
4. S. Slaby Award 2006 (国際図学会賞) (2006年 8月)
5. 日本図学会 40周年功労賞 (2007年 5月)
6. 日本図学会教育論文賞 [2005-2006] (2007年 5月)
7. 日本図学会賞 (2009年 5月)

社会における活動 1. ISGG (国際図学会) 会長 (1997年～2000年)
2. ISGG (国際図学会) 顧問 (2000年～)
3. 日本設計工学会評議員 (1999年～)
4. 日本図学会会長 (2001年～2004年)
5. 日本図学会顧問 (2004年～)
6. 大学評価・学位授与機構大学評価委員会委員 (2002年～2004年)
7. 大学評価・学位授与機構分野別教育・研究評価専門委員会委員 (2002年～2003年)
8. 大学評価・学位授与機構大学評価準備委員会ワーキンググループ委員 (2003年～2004年)
9. 独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 (2004年～2009年)

氏 名 ^{もうり なおたけ}
毛利 尚 武
MOHRI Naotake

所 属 ・ 職 名 研究開発部・学位審査研究主幹（兼）教授

学 歴 1968年 3月 東京都立大学理学部物理学科卒業
1975年 3月 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻修士課程修了
1979年 3月 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了

学 位 1979年 3月 工学博士(東京大学)

主 要 職 歴 1968年 4月 富士重工業株式会社
1979年 5月 東京大学生産技術研究所助手
1981年 8月 豊田工業大学工学部機械システム工学科助教授
1988年 4月 豊田工業大学工学部教授
2000年 4月 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻教授
2008年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部客員教授
2009年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
2009年 6月 東京大学名誉教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授
2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授(兼)
学位審査研究主幹

専 門 分 野 生産工学, 精密加工学, 高等教育

調 査 研 究 テ ー マ 1. 半導体／絶縁体／磁性材料の放電形状機能創成
2. マesoscale構造体の製造・評価
3. 介入機構を有する人間・機械系システム 4. 学位審査研究

教 育 研 究 業 績 1. N.Mohri, H.Takezawa, K.Furutani, Y.Ito, T.Sata, A New Process of Additive and Removal Machining by EDM with A Thin Electrode, Annals of CIRP, Vol.49, No.1, pp.123-126, 2000
2. N.Mohri, Y.Fukuzawa, T.Tani, T.Sata, Some Considerations to Machining Characteristics of Insulating Ceramics —Towards Practical Use in Industry—, Annals of CIRP, Vol.51, No.1, pp.161-164, 2002
3. N.Mohri, Y.Fukushima, Y.Fukuzawa, T.Tani, N.Saito, Layer Generation Process on Work-Piece in Electrical Discharge Machining, Annals of CIRP, Vol.52, No.1, pp.157-160, 2003
4. N.Mohri, T.Tani, Recent evolution of electrical discharge machining, Multi-Material Micro Manufacture, ELSEVIER, pp.23-26, 2006
5. Rie Tanabe, Yoshiro Ito, Naotake Mohri, Takahisa Masuzawa (2011) Development of peeling tool for micro-EDM CIRP Annals - Manufacturing Technology, 60/1, 227-230

所 属 学 会 1. 計測自動制御学会 2. 日本機械学会 3. 精密工学会 4. 電気加工学会
5. 型技術協会 6. 電気学会
7. CIRP(International Academy for Production Engineering) 8. 日本高等教育学会

受 賞 関 係 1. 精密工学会賞(1988年)
2. 電気加工学会論文賞(1992年, 1996年)
3. 工作機械技術振興賞論文賞(1993年, 1998年)
4. 日本金属学会論文賞(1994年)
5. 型技術協会技術賞(1996年, 1999年)
6. 日本機械学会東海支部賞技術賞(1997年)
7. 日本鑄造学会論文賞(1998年)
8. 精密工学会論文賞(1999年, 2002年)
9. 日本材料学会技術賞(2001年)
10. 紫綬褒章(2003年)

社会における活動 1. 社団法人電気加工学会評議員
2. 公益社団法人日本工学教育協会理事

氏 名 ^{あ お き きょうすけ}
青 木 恭 介
AOKI Kyosuke

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1973 年 3 月 東北大学工学部建築学科卒業

学 位 1986 年 3 月 工学博士(東北大学)

主 要 職 歴
1973 年 4 月 東北大学工学部助手
1993 年 4 月 宮城工業高等専門学校建築学科助教授
1995 年 4 月 宮城工業高等専門学校情報デザイン学科主任教授
1999 年 12 月 宮城工業高等専門学校専攻科建築・情報デザイン学専攻主任教授
2004 年 4 月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授
2007 年 4 月 宮城工業高等専門学校建築学科長
2007 年 4 月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部客員教授
2011 年 4 月 仙台高等専門学校名誉教授
2011 年 7 月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部客員教授
2012 年 4 月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 建築計画, 都市計画

調査研究テーマ
1. 児童の遊び生活環境に関する研究
2. 高等専門学校機関別認証評価に関する研究

教育研究業績
1. 児童の遊び生活における遊び場の分布構造(日本建築学会 論文報告集 第 343 号 (110~128), 1984 年)
2. 児童公園の利用圏域の変動(日本建築学会 計画系論文報告集 第 392 号(114~126), 1988 年)
3. 複線型評価制度と高等教育機関の負担(工学教育 Vol.53 No.3(14~19), 2005 年)
4. 我が国における工学教育の質保証の現状と将来(工学教育 Vol.57 No.1(57~62), 2009 年)

所 属 学 会 1. 日本建築学会 2. 日本高等教育質保証学会 3. 日本工学教育協会

社会における活動 総合科学技術会議評価専門調査会専門委員(2007 年 5 月~2011 年 3 月)

氏 名 井 田 正 明
い だ ま さ あ き
IDA Masaaki

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1988年 3月 京都大学工学部機械系精密工学科卒業
1990年 3月 京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了

学 位 1996年 1月 博士(工学)(京都大学)

主 要 職 歴 1998年 4月 京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻助手
2002年 3月 大学評価・学位授与機構評価研究部助教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授
2012年 10月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 情報学, システム工学, 数理計画法, 知識情報処理, 多目的評価と意思決定, データベース工学, 高等教育と情報技術, IR(インスティテューショナルリサーチ)

調査研究テーマ 評価における情報技術の活用

教育研究業績

1. 井田正明: 拡張順序に基づく可能性評価, 日本知能情報ファジィ学会誌, Vol.19, No.1, pp.41-46, 2007.
2. M. Ida: Robust Basis of Interval Multiobjective Linear and Quadratic Programming, Proc. of the 2007 IEEE Symposium on Computational Intelligence in Multicriteria Decision Making, pp.38-41, 2007.
3. 井田正明: 評価のための資料・データの収集と活用, 『大学評価文化の展開—評価の戦略的活用をめざして』ぎょうせい 2008年, pp.13-21.
4. 井田正明: 大学評価と情報技術の活用, オペレーションズリサーチ, Vol.54, No.5, pp.277-282, 2009.
5. 高萩栄一郎, 井田正明: Web サービスを利用した表計算ソフトによるファジィ検索—ファジィ積分による評価—, 日本知能情報ファジィ学会誌, Vol.21, No.4, pp.509-518, 2009.
6. M.Ida: Consideration on Sensitivity for Correspondence Analysis and Curriculum Comparison; V.N.Huyuh, Y.Nakamori, J.Lawry, M.Inuiguchi (eds.), Integrated Uncertainty Management and Applications, Advances In Intelligent and Soft Computing 68, Springer, pp.547-558, 2010.
7. 渋谷進, 金性希, 林隆之, 井田正明: 学習成果に係る標準指標の設定へ向けた検討: 国立大学法人評価における評価結果報告書の分析から, 大学評価・学位研究, No.13, pp.1-19, 2012.
8. M. Ida: Development of Web Service and Comparative Analysis of University Survey Data, Proc. of the 6th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and the 13th International Symposium on Advanced Intelligent Systems, pp.1757-1761, 2012.
9. M. Ida, S. Shibui: Document Analysis and Stability for Comprehension of University Evaluation Reports, International Journal of Innovation and Management Technology, vol.3, no.2, pp.106-111, 2012.

受賞関係

1. 計測自動制御学会論文集 30周年記念号特別表彰論文(1992年2月)
2. 日本知能情報ファジィ学会論文賞(2008年9月)
3. XBRL Japan アカデミックコンペティション優秀賞(2011年3月)
4. The 14th International Conference on Advanced Communication Technology, Distinguished Paper Award(2012年2月)

社会における活動

1. 日本知能情報ファジィ学会 編集委員(編集委員長: ~2009年6月)
2. XBRL Japan 客員会員(教育委員会)

氏 名 かどた としかず
角 田 敏 一
KADOTA Toshikazu

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1968年 3月 広島大学工学部機械工学科卒業
1970年 3月 広島大学大学院工学研究科修士課程機械工学専攻修了

学 位 1977年 2月 工学博士(大阪大学)

主 要 職 歴 1970年 4月 広島大学工学部助手
1978年 4月 文部省長期在外研究員(～1980年 4月, 米国)
1980年 9月 広島大学工学部助教授
1990年 4月 大阪府立大学工学部教授
2007年 9月 大阪府立大学名誉教授
2007年 10月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 機械工学, 高等教育

調 査 研 究 テ ー マ 1. 燃焼工学 2. 内燃機関学 3. 学位制度 4. 工学教育

教 育 研 究 業 績 1. 『最新内燃機関』朝倉書店 1995年
2. 『工業熱力学基礎編』東京大学出版会 2004年
3. “Soot Concentration Measurement in a Fuel Droplet Flame via Laser Light Scattering”, Combustion and Flame, 55, 195-201(1984).
4. “Auto-ignition and Combustion of a Fuel Droplet in Supercritical Gaseous Environments under Microgravity”, Proceedings of the Combustion Institute, 27, 2595-2601(1998).
5. “Recent Advances in the Combustion of Water Fuel Emulsion”, Progress in Energy and Combustion Science, 28, 385-404(2002).

所 属 学 会 1. 日本機械学会(フェロー, 永年会員) 2. 日本燃焼学会(顧問, 永年会員)
3. 国際燃焼学会 4. 自動車技術会(フェロー) 5. 日本高等教育学会

受 賞 関 係 1. SAE Member Service Award, 2006, SAE 2. 貢献賞, 2008, 日本機械学会関西支部
3. 功労賞, 2012, 日本燃焼学会

社 会 に お け る 活 動 1. 日本機械学会評議員(1998年～2000年, 2003年～2005年)
2. 日本機械学会エンジンシステム部門長(2007年～2008年)
3. 日本燃焼学会会長(2005年～2007年)
4. 国際燃焼学会日本支部長(2005年～2007年)
5. 日本燃焼学会理事(1997年～2007年)
6. 日本燃焼学会顧問(2008年～)
7. 自動車技術会理事(1998年～2000年)
8. 自動車技術会評議員(1998年～2004年)
9. 自動車技術会ガソリン機関部門委員会委員長(2002年～2006年)
10. 文部省学術審議会専門委員(1998年～2000年)
11. 近畿通産局近畿地域エネルギー環境対策懇談会委員(1994年～2000年)
12. NEDO 高性能工業炉等開発推進委員会委員(1997年～1999年)
13. 都市交通問題調査会新自動車普及促進委員会委員長(1993年～1995年)
14. エルピーガス振興センター技術開発波及効果分析調査研究委員会委員長(1998年～1999年)
15. 石油連盟住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業費補助金に係る審査委員会委員長(2008年～2010年)
16. 宇宙環境利用推進センター燃焼基礎現象研究委員会委員(1992年～1997年)
17. 日本ガス協会天然ガス自動車実用化調査委員会委員(1996年～2001年)
18. 省エネルギーセンター高温空気燃焼制御技術研究開発プロジェクト技術委員会委員(1999年～2004年)
19. 航空保安協会航空機火災に伴う消火救難業務に係る教育訓練施設調査委員会委員(2007年～2009年)

氏名 こうの みちかた
河野通方
KONO Michikata

所属・職名 研究開発部・教授

学歴 1968年 3月 東京大学工学部航空学科卒業
1970年 3月 東京大学工学系研究科航空学修士課程修了
1973年 3月 東京大学工学系研究科航空学博士課程修了

学位 1973年 3月 工学博士(東京大学)

主要職歴 1973年 4月 東京大学工学部航空学科助手
1977年 4月 東京大学工学部航空学科助教授
1984年 4月 ロンドン大学インペリアルカレッジ客員研究員(～1985年3月)
1987年 8月 東京大学工学部航空学科教授
1996年 10月 東京大学工学部教授会議長(～1997年3月)
1998年 4月 東京大学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学教授, 東京大学工学系研究科教授(併任), 東京大学工学部航空宇宙工学科教授
2000年 8月 東京大学評議員(～2001年3月)
2001年 4月 東京大学大学院新領域創成科学研究科科長(～2005年3月)
2006年 4月 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授
2007年 6月 東京大学名誉教授
2008年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部教授, 評価研究部長(兼)
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授, 評価研究主幹(兼)
2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専門分野 航空宇宙推進工学, 大学評価

調査研究テーマ 1. 燃焼学 2. 内燃機関 3. 認証評価 4. 法人教育研究評価

教育研究業績 1. 『工業熱力学』学献社 1989年
2. 『工業熱力学演習』学献社 1990年
3. 『最新内燃機関』朝倉書店 1995年
4. 『燃焼現象の基礎』オーム社 2001年
5. 『宇宙環境利用の基礎と応用』コロナ社 2002年
6. 『工業熱力学基礎編』東京大学出版会 2004年
その他専門分野に関する学術論文 150編

所属学会 1. 日本航空宇宙学会 2. 日本機械学会 3. 日本自動車技術会
4. 日本燃焼学会 5. 国際燃焼学会 6. 日本エネルギー学会
7. 日本マイクログラビティ応用学会 8. 日本高等教育質保証学会

受賞関係 1. 日本自動車技術会論文賞(1993年)
2. 谷川熱技術振興基金粉生熟技術振興賞(1995年)
3. 日本機械学会功績賞(1997年)
4. 日本自動車技術会功績賞(1997年)
5. 日本エネルギー学会学術賞(2000年)
6. 日本機械学会フェロー(2003年)
7. 環境省環境保全功労賞(2003年)
8. 日本自動車技術会フェロー(2005年)
9. 日本自動車技術会名誉会員(2011年) 日本自動車技術会
10. 日本航空宇宙学会名誉会員(2012年)

社会における活動 1. 日本自動車技術会評議員(1993年～2009年)
2. 日本エネルギー学会理事(1993年～1997年)
3. 日本機械学会評議員(1997年～2008年)
4. 日本マイクログラビティ応用学会理事(1997年～2001年)
5. 日本燃焼学会会長(1998年～2001年)
6. 東京大学出版会理事長(1998年～2001年)
7. 大学評価・学位授与機構 工学・芸術工学専門委員会委員(航空工学部会)(1999年～2006年)
8. 環境省大気環境部会特別委員・環境省大気環境部会自動車排出ガス専門委員会委員長(2001年～)
9. (財)日本大学野球連盟副会長(2002年～2004年)
10. 日本航空宇宙学会会長(2003年～2004年)
11. Director of The Combustion Institute(2004年～)
12. (財)東京大学運動会理事長(2005年～2007年)
13. 東京大学生協理事長(2005年～2007年)
14. 日本学術会議連携会員(2006年～)
15. 文部科学省科学技術・学術審議専門委員, 航空科学技術委員会主査(2011年～)
16. 国土交通省独立行政法人評価委員会臨時委員(2011年～)
17. 内閣府総合科学技術会議特別委員(1994年～2011年)
18. ISTS(宇宙の科学と技術に関する国際シンポジウム)組織委員長(2008年)

氏 名 た き た よ し こ
瀧 田 佳 子
TAKITA Yoshiko

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1969年 3月 東京大学教養学部教養学科(アメリカの文化と社会)卒業
1971年 3月 東京大学大学院人文科学研究科(比較文学比較文化)修士課程修了
1973年 3月 東京大学大学院人文科学研究科(比較文学比較文化)博士課程
単位取得満期退学

学 位 1971年 3月 文学修士(東京大学)

主 要 職 歴 1982年 4月 東京大学教養学部助教授
1992年 4月 東京大学教養学部教授
1996年 4月 東京大学大学院総合文化研究科教授
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部特任教授
2005年 10月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
2006年 6月 東京大学名誉教授
2008年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授,
学位審査研究部長(兼)
2010年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 アメリカ太平洋地域研究, 英語圏文学, 比較文学比較文化

調 査 研 究 テ ー マ アメリカ文学と多文化主義, 環太平洋文化交流史,
高等教育の多様性と専門職業人養成課程の実態調査

教育研究業績

1. 「娘の母語り—アジア系アメリカ人作家のエスニシティとジェンダー」, 油井大三郎・遠藤泰生編『多文化主義のアメリカ—揺れるナショナル・アイデンティティ』東京大学出版会, pp.209-225. 1999年
2. 「こころは踊る—アジア系アメリカ文学と狂気」, 『アメリカ太平洋研究』vol.2, pp.35-44. 東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター, 2002年
3. 「フォークナーのパリ」日本ウィリアム・フォークナー協会『フォークナー』第12号, pp.13-17, 2010.
4. 『『臣民の道』からシティズンシップへ—アメリカ教育ミッションの成人教育観』, 科学研究費補助金・基盤研究(A), 平成15年~平成18年, 『アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容 研究成果報告書』, pp.87-96, 2007年3月(研究分担者)
5. 「省庁大学校における専門職業人養成の試み—国立看護大学校研究課程部の場合」, 『大学評価・学位研究』第12号, pp.105-113, 2011年3月
6. 「感力と想像力—サマセット・モームの生涯学習」, 日本モーム協会, 『CAP FERRAT』第9号, pp.13-17. 2012年
7. 「W.S.モームとダーウィニズム」日本モーム協会, 『CAP FERRAT』第10号, pp.62-65, 2013年.
8. 『アメリカ研究案内』(共著)東京大学出版会 1998年
9. 『アメリカン・ライフへのまなざし—自然・女性・大衆文化』東京大学出版会 2000年
10. 『太平洋世界の文化とアメリカ—多文化主義・土着・ジェンダー』(編著)彩流社 2005年
11. 『歴史をどう書くか』(共著)講談社 2006年

所 属 学 会

1. Organization of American Historians
2. 日本英文学会
3. アメリカ学会
4. 日本アメリカ文学会
5. 日本比較文学会
6. 東大比較文学会
7. アジア系アメリカ文学会

社会における活動

1. 文部科学省文学視学委員(1996年4月~2001年3月)
2. 日本学術会議文学語学研究連絡委員(2003年4月~2006年3月)

氏 名 ^{た な か や よ い}
田 中 弥 生
TANAKA Yayoi

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1982年 3月 上智大学文学部卒業
1996年 3月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科政策・メディア専攻修士
課程修了

学 位 2001年 6月 博士(国際公共政策)(大阪大学)

主 要 職 歴 1985年 1月 笹川平和財団 主任研究員, 上席研究員(～2003年 9月)
2002年 1月 国際協力銀行 評価室 参事役(～2003年 8月)
2003年 10月 東京大学工学系研究科社会基盤学専攻寄附講座国際プロジェクト客員助
教授(～2006年 9月)
2006年 9月 独立行政法人大学評価・学位授与機構国際連携センター助教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授
2013年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 評価論, 市民社会組織論

調査研究テーマ 大学の内部質保証人材育成事業開発, 大学の内部質保証力向上のための支援ツールの
開発と普及

教育研究業績

1. 『ドラッカー 2020年の日本人への「預言」』集英社, 2012年 10月, 208頁
2. 『市民社会政策論 3.11 後の政府, NPO, ボランティアを考えるために』明石書店,
2011年 8月, 382頁
3. 『社会政策講義』「強く自立した NPO ～～民が担う公共領域の好循環～」明石書店,
2011年 9月, pp73-101
4. 『Evaluability Assessment 研究報告書 「大学の質保証力向上のための理論と実
践」』大学評価・学位授与機構, 2011年 3月全 166頁
5. 第 2 部「大学に対するパブリック・マネージメントの在り方に関する調査研究」『大学に
おける教育研究活動の評価に関する調査研究』文部科学省平成 23 年度先導的
大学改革推進委託事業, 東京理科大学大学院教育研究科北原和夫研究室
6. 「財務指標から捉えた民間非営利組織の評価－持続性の要因を探る－」ノンプロフ
ィットレビュー(日本 NPO 学会)2010年 Vol.10/No.2, pp111-112
7. 独立行政法人大学評価・学位授与機構編著『大学評価文化の定着』ぎょうせい,
2010年 第 2 部第 3 章 3 節 第 3 部第 1 章
8. 「機能する大学評価体制の特徴と課題 ～福岡工業大学事例から～」大学評価・学
位研究 第 11 号 独立行政法人大学評価・学位授与機構 2010年 3月, pp31-44
9. 「国立大学法人評価の設計と実際 ～大学改革と行政改革のはざま～」評価ク
ォーターリーNo. 12(財)行政管理研究センター pp2-20
10. 『NPO新時代 市民性創造のために』明石書店, 2008年
11. 『大学外組織評価研究会中間報告書』大学評価・学位授与機構, 2008年 3月
12. Chikio Hayashi, Akira Iriyama and Yayoi Tanaka, Public-interest corporations in
Japan today: data-scientific approach, The Behaviormetric Society of Japan,
Behaviormetrika, Vol.27, No.1 January pp.67-88 2000.4.13

所 属 学 会 1. 日本 NPO 学会 2. 日本評価学会 3. 全米評価学会

受 賞 関 係 1. 日本 NPO 学会奨励賞(2006年)
2. 日本評価学会論文賞(2006年)

社会における活動

1. 行政改革推進会議民間議員(2013年 2月～)
2. 日本NPO学会会長(2012年 4月～)
3. 財務省財政制度等審議会委員(2007年 1月～)
4. 総務省 政策評価・独立行政法人評価臨時委員(2011年 1月～)

氏 名 つちや しゅん
土屋 俊
TUTIYA Syun

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1975年 3月 東京大学教養学部卒業(教養学科科学史・科学哲学分科)
1977年 3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了(哲学専攻)
1980年 3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

学 位 1977年 3月 文学修士(東京大学)

主 要 職 歴 1980年 4月 日本学術振興会奨励研究員
1982年 4月 千葉大学文学部助教授
1986年 11月 文部省長期在外研究員(アメリカ合衆国・スタンフォード大学, 1988年
～11月; 言語・情報研究センター客員研究員, ～1989年2月)
1994年 1月 千葉大学文学部教授(～2011年3月)
1996年 4月 千葉大学総合情報処理センター長(～1998年3月)
1998年 4月 千葉大学附属図書館長(～2002年3月)
2003年 8月 千葉大学学長特別補佐(国際担当)(～2005年3月)
2004年 4月 千葉大学国際教育開発センター長(～2005年3月)
2005年 4月 千葉大学附属図書館長(～2007年3月)
2009年 4月 千葉大学総合メディア基盤センター長(～2011年3月)
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 哲学(言語の哲学, 心の哲学), 高等教育質保証, 認知科学, 図書館情報学, 音声対話

調査研究テーマ 1. 高等教育質保証 高等教育における人文学の位置づけ
2. 学術情報流通基盤, 学術情報利用行動の認知科学的研究, 応用認識論

教育研究業績 1. 「デジタル・メディアによる大学の変貌または死滅」(広田ほか編『グローバルゼーション, 社会変動と大学』岩波書店所収) 2013年3月
2. 『デジタル社会の迷いと希望』くろしお出版, 2011年8月
3. 『なぜ言語があるのか』, くろしお出版, 2009年9月
4. 『真の包括的な言語の科学』, くろしお出版, 2008年12月
5. Koyama, K., Sato, S., Takeuchi, H. and Tutiya, S. How the digital era has transformed ILL services in Japanese university libraries: a comprehensive analysis of NACSIS-ILL transaction records from 1994 to 2008. Interlending and Document Supply, Vol 39, Issue 1, pp. 32 - 39, 2011年4月

所 属 学 会 哲学会

社会における活動 1. 文部科学省独立行政法人評価委員会臨時委員(科学技術振興機構部会)
2. 国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会顧問
3. 千葉県個人情報保護審議会会長
4. 国立国会図書館科学技術情報整備審議会委員
5. 独立行政法人物質・材料科学研究機構デジタルライブラリー専門委員会委員
6. 放送大学客員教授
7. 千葉大学アカデミックリンクセンター客員教授
8. 独立行政法人大学入試センター客員教授 ほか

氏 名 なかはら かずひこ
中原 一彦
NAKAHARA Kazuhiko

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1972年 3月 東京大学医学部医学科卒業

学 位 1980年 12月 医学博士(東京大学)

主 要 職 歴

- 1972年 6月 東京大学医学部附属病院研修医
- 1974年 7月 東京大学医学部第一内科入局
- 1975年 12月 東京大学医学部助手
- 1982年 3月 米国スタンフォード大学フェロー(～1984年 3月)
- 1984年 7月 東京大学医学部臨床検査医学助手
- 1986年 10月 東京大学医学部附属病院検査部講師
- 1990年 2月 杏林大学医学部臨床病理学助教授
- 1991年 4月 杏林大学医学部臨床病理学教授
- 杏林大学医学部附属病院中央臨床検査部部長併任(～1995年 4月)
- 1995年 5月 東京大学医学部臨床検査医学教授
- 東京大学医学部附属病院検査部 部長併任(～2005年 3月)
- 1996年 11月 東京大学医学部附属看護学校 学校長併任(～2002年 3月)
- 1997年 4月 東京大学大学院医学系研究科教授(医学部教授兼任:～2005年 3月)
- 2005年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
- 2005年 6月 東京大学名誉教授(～現在)
- 2010年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授,
学位審査研究部長(兼)
- 2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授,
学位審査研究主幹(兼)
- 2012年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 医学(内科学, 血液学, 臨床検査医学)

調査研究テーマ

1. 造血器腫瘍の免疫学的診断
2. 細胞表面抗原
3. フローサイトメリーの有効利用
4. 学位研究

教育研究業績

1. Nakahara, K. : Current status of laboratory accreditation in Japan. 22nd World Congress of Pathology & Laboratory Medicine. Editor Ae Ja Park, Medimond, Italy, pp.145-148, 2004.
2. 中原一彦(共著):「血液検査」,『標準臨床検査医学 第3版』(編集 猪狩 淳, 中原一彦)医学書院 2006年
3. 中原一彦(共著):第3節 研究の進め方—生命科学を例として—,『新しい学士をめざして 実践的学修のガイドブック』(編集(独)大学評価・学位授与機構学位審査研究部)ぎょうせい 2008年
4. 中原一彦:臨床検査の標準化, Cytometry Research 19:33-38, 2009.
5. 中原一彦(監修):「パーフェクトガイド検査値事典」総合医学社 2011
6. 中原一彦:特別寄稿 新しい学士への途 —あなたも学士になりませんか—,『日本臨床検査同学院通信』37巻, 春季号:2-8, 2012

所 属 学 会

1. 日本臨床検査医学会
2. 日本検査血液学会
3. 日本臨床化学会
4. 日本臨床検査自動化学会
5. 日本臨床検査専門医会
6. 日本臨床検査同学院
7. 日本サイトメリー学会
8. 日本医療機器学会
9. 日本内科学会
10. 日本血液学会
11. 日本臨床免疫学会
12. 日本リンパ網内系学会

受 賞 関 係

1. 臨床病理学研究振興基金研究奨励賞(1991年)
2. 小酒井望賞(1997年)

社会における活動

1. 厚生省臨床検査技師国家試験委員長(1997年～1999年)
2. 文部省看護学・保健学視学委員及び短期大学視学委員(1999年～2003年)
3. 厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員(2001年～2009年)

氏 名 よしかわ ゆみこ
吉 川 裕美子
YOSHIKAWA Yumiko

所 属 ・ 職 名 研究開発部・教授

学 歴 1987年 3月 上智大学外国語学部ドイツ語学科卒業
1991年 3月 お茶の水女子大学大学院人文科学研究科教育学専攻修士課程修了
1992年 ドイツ・フランクフルト大学およびドイツ国際教育研究所(DIPF)留学
(ドイツ学術交流会 DAAD 奨学生)(~1994年)
1996年 3月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達学専攻博士課程
修了

学 位 1996年 3月 博士(学術)(お茶の水女子大学)

主 要 職 歴 1996年 4月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助手
1998年 4月 日本学術振興会特別研究員(~1999年 6月)
1999年 7月 学位授与機構審査研究部助教授
2000年 4月 大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部准教授
2007年 10月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部教授

専 門 分 野 高等教育論, 比較教育学

調 査 研 究 テ ー マ 1. グローバル化に伴う学位・単位の質保証と相互認証
2. ヨーロッパの学位・高等教育資格枠組みと学習の成果に関する研究
3. 大学教育と職業に関する日独比較研究

教 育 研 究 業 績 1. 『ドイツ資格社会における教育と職業』教育開発研究所, 1998年 2月.
2. 「イギリス高等教育の学位統一への動き—高等教育資格枠組み導入の背景, 概要, 展望—」, 『学位研究』第 14 号, 2001 年, pp.29-54.
3. 「ヨーロッパ統合と高等教育政策 —エラスムス・プログラムからボローニャ・プロセスへ」, 『学位研究』第 17 号, 2003 年, pp.69-90.
4. 「学生の流動化と学士課程教育—全国大学調査にみる編入学, 単位認定, 学生交流と支援体制の実態—」, 『学位研究』第 18 号, 2004 年, pp.3-104, (小林雅之, 濱中義隆, 林未央と共著).
5. 「欧州高等教育におけるグローバリゼーションと市場化」, 『比較教育学研究』第 32 号, 2006 年, pp.125-136.
6. 「学位と大学—5か国比較研究報告の概要」, 「ドイツの大学・学位制度」, 『学位と大学—イギリス・フランス・ドイツ・アメリカ・日本の比較研究報告』(大学評価・学位授与機構研究報告, 第 1 号), 第 1 章, 第 4 章, 2010 年 7 月, pp.1-10, pp.161-232.
7. 「留学生の質保証—学位認証, 成績評価, 単位認定の情報共有に向けて—」, 『留学交流』, 平成 23 年 1 月号, 2011 年, pp.4-8.

所 属 学 会 1. 日本高等教育学会 2. 日本比較教育学会 3. 日本教育行政学会
4. 日本教育社会学会 5. 日本教育学会 6. 日本ドイツ学会

社 会 に お け る 活 動 1. 国立学校財務センター客員研究員(1999年 7月~2002年 3月)
2. 広島大学高等教育研究開発センター客員研究員(2000年 4月~2004年 3月)
3. 中央教育審議会専門委員(2008年 12月~)
4. 日本学術振興会 平成 24 年度グローバル人材育成推進事業プログラム委員会審査部
会委員

氏 名 齋藤 聖子
SAITO Kiyoko

所 属 ・ 職 名 研究開発部・准教授

学 歴 1993年 3月 聖心女子大学文学部教育学科卒業
1995年 3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻修士
課程修了
1999年 3月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了

学 位 1999年 3月 博士(学術)(東京大学)

主 要 職 歴 1997年 4月 スタンフォード大学心理学部客員研究員(～1999年 3月)
1999年 4月 日本原子力研究所(現独立行政法人日本原子力研究開発機構)
保健物理部博士研究員(～2001年 3月)
2001年 4月 私立文化女子大学現代文化学部健康心理学専任講師
(～2006年 3月)
2006年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構国際連携センター助手
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部助教
2008年 11月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授

専 門 分 野 大学評価, 認知心理学

調査研究テーマ 1. 学習成果・IR・大学評価システム 2. リスクコミュニケーション

教育研究業績 1. 齋藤聖子, (2012), 『IR 実践ハンドブック 大学の意思決定支援』2, 玉川出版会.
2. 齋藤聖子, (2011), 『地震リスクとコミュニケーション』1.4.3 原子力分野におけるリスク
コミュニケーション, 日本建築学会.
3. Kiyoko Saito & Ayaka Noda (2011) A Paradigm of Quality Assurance: Beyond
globalizing forces vs. national goals, Full Proceedings of INQAAHE2011 Conference
4. 齋藤聖子, (2010), 大学評価文化の定着(2-2-3 学習成果の可視化の試み), ぎょうせい,
pp.101-120
5. 齋藤聖子・中畝菜穂子・三田地真実(2010)「学習成果可視型シラバス作成支援シス
テムの開発: 学習成果の可視化への試み」, 大学評価・学位研究, 第 11 号, p47-61
6. 齋藤聖子, (2008), 大学評価文化の展開(5-1 大学が行っている情報発信の分析),
ぎょうせい, pp.140-150.
7. 齋藤聖子(2008)「大学評価情報の効果的な発信とは」『大学評価・学位研究』, 第 7
号, 大学評価・学位授与機構, p73-84
8. Kiyoko Saito (2007) Impact of QA to the senior high school students. Full
Proceedings of INQAAHE 2007 Conference

所 属 学 会 1. 大学教育学会 2. 日本心理学会 3. 日本リスク研究学会
4. 高等教育質保証学会
5. Association for Institutional Research, Professional and Organizational Development
Network in Higher Education
6. 認知科学会

社会における活動 1. 東京都教職員研修センター研修・研究評価委員会 委員
2. 高等教育質保証学会 評議員・幹事
3. 高等教育質保証学会第一・二回大会実行委員会 委員

氏 名 の だ あ や か
野 田 文 香
NODA Ayaka

所 属 ・ 職 名 研究開発部・准教授

学 歴 2001年 8月 ワシントン大学(シアトル)派遣交換留学(～2002年 6月)
2003年 3月 慶應義塾大学文学部人間関係学科教育学専攻卒業
2005年 5月 ジョージワシントン大学大学院国際教育研究科修士課程修了
2009年 12月 ジョージワシントン大学大学院高等教育研究科博士課程修了

学 位 2010年 1月 博士(教育学)(ジョージワシントン大学)

主 要 職 歴 2005年 5月 ジョージワシントン大学教育大学院研究助手(～2006年 5月)
2007年 3月 Education Week, Research Center, Research Intern(～2007年 12月)
2008年 4月 立命館大学 教育開発推進機構講師(～2010年 2月)
2010年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授

専 門 分 野 高等教育学, 比較教育政策

調 査 研 究 テ ー マ
1. 単位の実質化と機関別認証評価
2. 大学の国際化評価
3. 大学院における継続専門教育

教 育 研 究 業 績
1. Ayaka Noda & Mikyong Minsun Kim (2013). Learning Experiences and Gains from Continuing Professional Education and Their Applicability to Work for Japanese Government Officials. *Studies in Higher Education*. (Available online: iFirst, 17 Jan, 2013, <http://www.tandfonline.com/doi/abs/10.1080/03075079.2012.754864>)
2. 野田文香 (2013) 「米国における大学国際化評価の動向と課題」『大学評価・学位研究』, 第 14 号, pp.37-53.
3. 野田文香・林隆之・渋井進・田中弥生・野澤康則(2011)「評価の検証からみた法科大学院認証評価の現状と課題」『大学評価・学位研究』, 第 12 号, pp.49-70
4. 野田文香(2010)「高等教育における『ジェネリックスキル評価』を巡る問題点と今後の課題—オーストラリアと米国の取組から—」, 『比較教育学研究』40 号, pp.3-23
5. 野田文香(2009)「アウトカム評価としてのインスティテューショナル・リサーチ機能」『立命館高等教育研究』第 9 号, pp.125-140
6. 野田文香(共著)(2008)「米国高等教育における国際化戦略と評価—政府・第三者機関・大学の役割と分析—」広島大学高等教育研究開発センター, 高等教育研究叢書, pp.49-81

所 属 学 会 1. 日本高等教育学会 2. 大学教育学会 3. 高等教育質保証学会
4. 日本比較教育学会 5. Association for Institutional Research
6. Association for the Study of Higher Education

社会における活動 高等教育質保証学会 事務局担当(2010年～)

氏 名 はやし たかゆき
林 隆之
HAYASHI Takayuki

所 属 ・ 職 名 研究開発部・准教授

学 歴 1996年 3月 東京大学教養学部教養学科第一卒業
1998年 3月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士課程修了
2001年 3月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了

学 位 2001年 3月 博士(学術)(東京大学)

主 要 職 歴 2001年 4月 大学評価・学位授与機構評価研究部助手
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部助手
2005年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部助教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授

専 門 分 野 科学技術政策論, 科学計量学, 大学評価, 研究評価

調 査 研 究 テ ー マ 1. 大学評価システムの開発・検証に関する研究
2. 定量的データを用いた教育・研究活動の分析と基盤構築の研究
3. 科学技術政策研究, 研究評価の研究

教 育 研 究 業 績 1. 林隆之「大学の研究評価の変容と科学研究のガバナンス」『研究技術計画』Vol.24 (2009), pp.231-242. (2010年5月発刊)
2. 林隆之, 調麻佐志, 山下泰弘, 富澤宏之「大学の研究促進施策・環境が研究生産性に及ぼす効果に関する行動科学的分析」『大学評価・学位研究』Vol.8(2008年), pp.21-41
3. 林隆之, 富澤宏之(2007)「日本の研究パフォーマンスと研究実施構造の変遷」『大学評価・学位研究』vol.5, pp.55-73.
4. 共著『研究評価・科学論のための科学計量学入門』丸善 2004年
5. T. Hayashi, "Effect of R&D programmes on the formation of university-industry-government networks: comparative analysis of Japanese R&D programmes" Research Policy, Vol.32(2003), pp.1421-1442
6. 林隆之, 野田文香, 渋井 進(2012)『大学評価のメタ評価に関する調査研究報告書』大学評価・学位授与機構
7. 林隆之(2011)「政策評価」国立国会図書館調査及び立法考査局『科学技術政策の国際的な動向』pp.169-198.

所 属 学 会 1. 研究・技術計画学会 2. 日本高等教育学会 3. 科学技術社会論学会
4. 日本評価学会

社 会 に お け る 活 動 1. 文部科学省 研究開発評価推進検討会委員(2007年～), 同主催「研究評価人材育成研修(初級)」講師(2010年～), 同WG委員(2012年)
2. 文部科学省 科学技術・学術審議会 人材委員会委員(2012年～)
3. 文部科学省 科学技術政策研究所 客員研究官(2011年～), 同「博士課程修了者の追跡システム・高度人材 DB 構築の基盤整備事業のための専門委員会」委員(2011年～2012年), 同「公的研究開発についてのインプットデータ整備のためのワーキンググループ」委員(2012年)
4. 文部科学省 国立教育政策研究所「大学の評価指標の在り方に関する調査研究」委員(2012年)
5. 日本学術会議特任連携会員(2011年～)(「研究にかかわる「評価システム」の在り方検討委員会」幹事)
6. 三菱総合研究所(文部科学省委託)「研究マネジメントにいかす評価の活用事例に関する検討委員会」委員(2012年)
7. 研究・技術計画学会 学会誌編集理事(2011年～), 研究評価分科会幹事(2008年～)

氏 名 ^{みやざき かずてる}
宮崎 和光
MIYAZAKI Kazuteru

所 属 ・ 職 名 研究開発部・准教授

学 歴 1991年 3月 明治大学工学部精密工学科卒業
1993年 3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能科学専攻博士前期
(修士)課程修了
1996年 3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能科学専攻博士後期課程
修了

学 位 1996年 3月 博士(工学)(東京工業大学)

主 要 職 歴 1996年 4月 東京工業大学大学院総合理工学研究科助手
1998年 4月 東京工業大学大学院総合理工学研究科リサーチ・アソシエイト
1999年 10月 学位授与機構審査研究部助教授
2000年 4月 大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授

専 門 分 野 情報工学, 人工知能, 機械学習

調査研究テーマ 1. 強化学習理論の発展と応用について
2. 電子化されたシラバスに基づく科目分類支援システムの開発について

教育研究業績 1. Miyazaki, K. and Ida, M. (2012)「Proposal of an Active Course Classification Support System with Exploitation-oriented Learning Extended by Positive and Negative Examples」『Proc. of the 6th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and the 13th International Symposium on Advanced Intelligent Systems』, pp.1520-1527.
2. Kuroda, S., Miyazaki, K. and Kobayashi, S. (2012)「Introduction of Fixed Mode States into Online Reinforcement Learning with Penalty and Reward and Its Application to Waist Trajectory Generation of Biped Robot」『Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics』, Vol.16, No.6, pp.758-768.
3. 宮崎和光 (2012)「複数報酬環境下における意識的意思決定方法に関する研究」『第39回知能システムシンポジウム資料』, pp.95-98.
4. Miyazaki, K. and Kobayashi, S. (2009)「Exploitation-oriented Learning PS-r#」『Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics』, Vol.13, No.6, pp.624-630.
5. 宮崎和光, 井田正明, 芳鐘冬樹, 野澤孝之, 喜多一 (2007)「専門科目名のリストを利用した学位授与事業のための科目分類支援システムの評価」『大学評価・学位研究』, No.6, pp.27-42.

所 属 学 会 1. 人工知能学会 2. 計測自動制御学会 3. 日本機械学会
4. 日本高等教育学会 5. 情報処理学会 6. 日本ロボット学会

受 賞 関 係 1. 日本機械学会 畠山賞, 日本機械学会(1991年 3月)
2. 人工知能学会 1994年度論文賞, 人工知能学会(1995年 7月)
3. IIZUKA'96 BEST PAPER AWARD(1996年 10月)
4. 1997年度計測自動制御学会学術奨励賞, 計測自動制御学会(1998年 2月)

社会における活動 1. 計測自動制御学会 知能工学部会運営委員
2. Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Editorial Member
3. 電気学会 サービス指向システムの最適化・効率化のための機械学習技術協同研究委員会委員
4. 計測自動制御学会 システム・情報部門 和文論文誌 Associate Editor

氏 名 ^{もり} 森 ^り 利 ^え 枝
MORI Rie

所 属 ・ 職 名 研究開発部・准教授

学 歴 1991年 3月 早稲田大学第一文学部哲学科人文専修卒業
1994年 3月 早稲田大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了
1995年 3月 早稲田大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程中途退学

学 位 1994年 3月 修士(文学)(早稲田大学)

主 要 職 歴 1995年 4月 学位授与機構審査研究部助手
2000年 2月 学位授与機構審査研究部助教授
2000年 4月 大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授
2004年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部助教授
2007年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構学位審査研究部准教授
2011年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構研究開発部准教授

専 門 分 野 比較高等教育論

調 査 研 究 テ ー マ 1. 高等教育の要素・体系・資格 2. 非伝統的高等教育と正統性

教 育 研 究 業 績 1. P・G・アルトバック編著／森利枝訳『私学高等教育の潮流』玉川大学出版部 2005年 9月
2. OECD 編著／森利枝訳『日本の大学改革』, 明石書店, 2009年 10月
3. MORI Rie (2010) Assessing Scholastic Learning Outcomes of Independent Higher Learning: Twenty-Year Experience of NIAD-UE, 『大学評価・学位研究』第 11号, pp.63-75
4. Mori, Rie (2011) "Evaluating Third Party Evaluators' Role in Assuring Global Equality among Premier Japanese Universities", Quality in Higher Education: Identifying, Developing and Sustaining Best Practices in the APEC Region, APEC Human Recourse Development Working group, Asia Pacific Economic Cooperation, August 2011, pp.202-211.
5. 森 利枝(2012)「アメリカの連邦高等教育政策とアクレディテーション団体の機能」, 『IDE-現代の高等教育』No.538, 2012年 2-3月号, pp.36-40

所 属 学 会 1. 日本比較教育学会 2. 早稲田大学哲学会 3. 日本教育社会学会
4. 日本高等教育学会 5. 大学教育学会

社会における活動 1. 日本私立大学協会附置私学高等教育研究所客員研究員(1999年～)
2. 早稲田大学感性文化研究所客員研究員(2003年 4月～)
3. 早稲田大学文学部・文化構想学部非常勤講師(2001年 4月～2003年 3月)(2006年 4月～)
4. 早稲田大学教育総合研究所特別研究員(2007年 4月～)
5. 日本学術会議特別連携会員(2010年 10月～)
6. 同志社大学高等教育・学生研究センター 客員研究員(2008年 4月～)
7. 国立教育政策研究所調査研究委員(2009年 4月～2013年 3月)
8. 広島大学高等教育開発研究センター客員研究員(2010年 4月～)

●客員教員（任期：2014年3月31日）

氏名 加藤 哲夫
かとう てつお
KATO Tetsuo

職名 客員教授
現職 早稲田大学法学学術院教授
専門分野 民事手続法

氏名 川嶋 太津夫
かわしま たつお
KAWASHIMA Tatsuo

職名 客員教授
現職 神戸大学大学教育推進機構・大学院国際協力研究科教授
専門分野 比較高等教育論，教育協力論，教育社会学

氏名 黄 梅英
こう ばい えい
HUANG Meiyang

職名 客員教授
現職 尚絅学院大学総合人間科学部教授
専門分野 教育社会学，高等教育論

氏名 佐久間 一郎
さくま いちろう
SAKUMA Ichiro

職名 客員教授
現職 東京大学大学院工学系研究科附属医療福祉工学開発評価研究センター教授
専門分野 生体医工学，精密工学，コンピュータ外科

氏 名 ひろばた やすひろ
廣 島 康 裕
HIROBATA Yasuhiro

職 名 客員教授

現 職 豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
専 門 分 野 土木計画学, 交通工学

氏 名 むぐるま まさあき
六 車 正 章
MUGURUMA Masaaki

職 名 客員教授

専 門 分 野 教育行政

氏 名 もりた ゆたか
森 田 寛
MORITA Yutaka

職 名 客員教授

現 職 お茶の水女子大学名誉教授・堀野医院副院長
専 門 分 野 内科学, アレルギー学

氏 名 や の まさかず
矢 野 眞 和
YANO Masakazu

職 名 客員教授

現 職 桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科教授
専 門 分 野 社会工学・高等教育政策

氏名 やまもと しんいち
山本 進一
YAMAMOTO Shin-ichi

職名 客員教授
現職 岡山大学理事・副学長
専門分野 森林科学

氏名 やまもと やすし
山本 泰
YAMAMOTO Yasushi

職名 客員教授
現職 東京大学大学院総合文化研究科
専門分野 社会学

氏名 くりた かよこ
栗田 佳代子
KURITA Kayoko

職名 客員准教授
現職 東京大学大学総合教育研究センター特任准教授
専門分野 教育・心理統計，教員評価，高等教育開発

氏名 さいとう たかひろ
齊藤 貴浩
SAITO Takahiro

職名 客員准教授
現職 大阪大学評価・情報分析室准教授
専門分野 教育事業評価，高等教育，遠隔教育，進路指導

氏 名 ^{し ぶ い} 渋 井 ^{すすむ} 進
SHIBUI Susumu

職 名 客員准教授

現 職 鹿児島大学教育センター高等教育研究開発部准教授,
学長補佐 (企画・評価・IR 担当)

専 門 分 野 大学評価, 教育心理学, 認知心理学

氏 名 ^{は ま な か} 濱 中 ^{よ し た か} 義 隆
HAMANAKA Yoshitaka

職 名 客員准教授

現 職 国立教育政策研究所高等教育研究部総括研究官

専 門 分 野 教育社会学, 高等教育論

氏名索引 (50 音順)

氏名索引 (50 音順)

■あ■

青木 恭介 22
井田 正明 23
岡本 和夫 7

■か■

加藤 哲夫 36
角田 敏一 24
川口 昭彦 11
川嶋 太津夫 36
木村 靖二 12
木村 孟 13
栗田 佳代子 38
黄 梅 英 36
河野 通方 25

■さ■

齋藤 聖子 31
齊藤 貴浩 38
佐久間 一郎 36
渋井 進 39
鈴木 賢次郎 20

■た■

瀧田 佳子 26
武市 正人 19
田中 弥生 27

土屋 俊 28

■な■

中原 一彦 29
野上 智行 3
野田 文香 32

■は■

橋本 弘信 14
平野 眞一 15
廣 畠 康裕 37
濱 中 義隆 39
林 隆之 33

■ま■

宮崎 和光 34
六車 正章 37
毛利 尚武 21
森 利枝 35
森田 寛 37

■や■

矢野 眞和 37
山本 進一 38
山本 泰 38
吉川 裕美子 30